



UNIVERSITY OF TOYAMA

CIEP

NEWS

Vol.5

富山大学
国際交流センター
ニュース
2016

富山大学国際交流センター

〒930-8555 富山市五福3190

TEL/FAX 076-445-6106

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>

Center for International Education and Research

がく せと くに ほん せと で みて くだ
学の外に、日本の外にどんどん出てみて下さい。やりたいことや
もくひょう
目標がきつと見つかります。



けんきゅうりゅうがく 研究留学のすゝめ

りがくぶ かがくか ねん
理学部化学科4年

まえじま たか や
前島 昂弥

「英語の習得は国内でもなんとかなる。」この言葉は、ある化学系の教授に言われた言葉です。もともと、英語で会話すらできない状態だった私が、今ここで記事を書かせて頂いていること自体、驚きを隠せません。ここでは、国際交流センターでの留学生との交流から、「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム第4期生」として研究留学するまでを想起すると共に、「このような留学・交流のカタチ」もあるのか、と思っ頂ければ幸いです。

私は、理学部で化学を学んでおり、今春から修士課程に進学します。私が専攻している「化学」と「国際交流」はあまり関係がないように感じられますが、「未知のものに対する好奇心」という視座は一貫していました。

国際交流センターには、海外のビジネスプランコンテストの相談で訪れたのが初めてでした。そこでは留学生と話をする機会があり、海外は日本と全然違うなど衝撃を受けたものでした。そのような出来事を境に、「もっと色々な国を知りたい」と思うようになり、留学生との交流を始めました。しかし、なかなか意思疎通ができないことが多く、悔しい思いを抱いていました。そこで、英語を積極的に勉強するようになったところ、次第に留学生と話せるようになりました。特に、スペインやバレー、ホンジュラス、ミャンマー、カンボジアから来た留学生(母国では学校の先生で、教育を学ぶために日本に留学)と毎日様々なことを話したりしたことはいい思い出です。

そのような日々を過ごしていると、留学生との交流を他の人にも広げたい、興味を持っている人の手助けができれば、と思うようになりました。その後、同じ考えを持つ仲間を集め、学生と留学生が交流をするサークルを立ち上げるまでになりました。

留学生からは多くのことを学びました。特に、母国で英語や留学先の言葉を習得した上で、教育や工学などの「目的」を持って留学するという姿勢です。このような留学生と関わる中で、私も研究をするために留学をしたいという気持ちが芽生えました。そこで、官民協働で日本人留学生を支援する、トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラムに応募したところ、採用され、今年の夏から留学することが決まりました。

全く英語が話せなくても、日本で克服することができます。そして、言語を手段として「目的」のために留学するという考え方もあると思います。この投稿で、「こんな留学に対する考え方もあるのか」と気づいて頂けたなら嬉しいです。